

クオレ00 ケラティストコンク検証

by Voyage cosmetics

目次

2

1. ブリーチ検証
2. コールドパーマ検証
アンリミットカール+コンク
3. デジタルパーマ検証
アンリミットストレート+コンク
／アンリミットマルチクリーム3.5+コンク
4. 酸熱トリートメント検証
アンリミットLGアシッド+コンク

毛髪強度の測定方法

3



- 各検証毛束から、太さの整った10本を選択
- その10本の強度数値の平均値

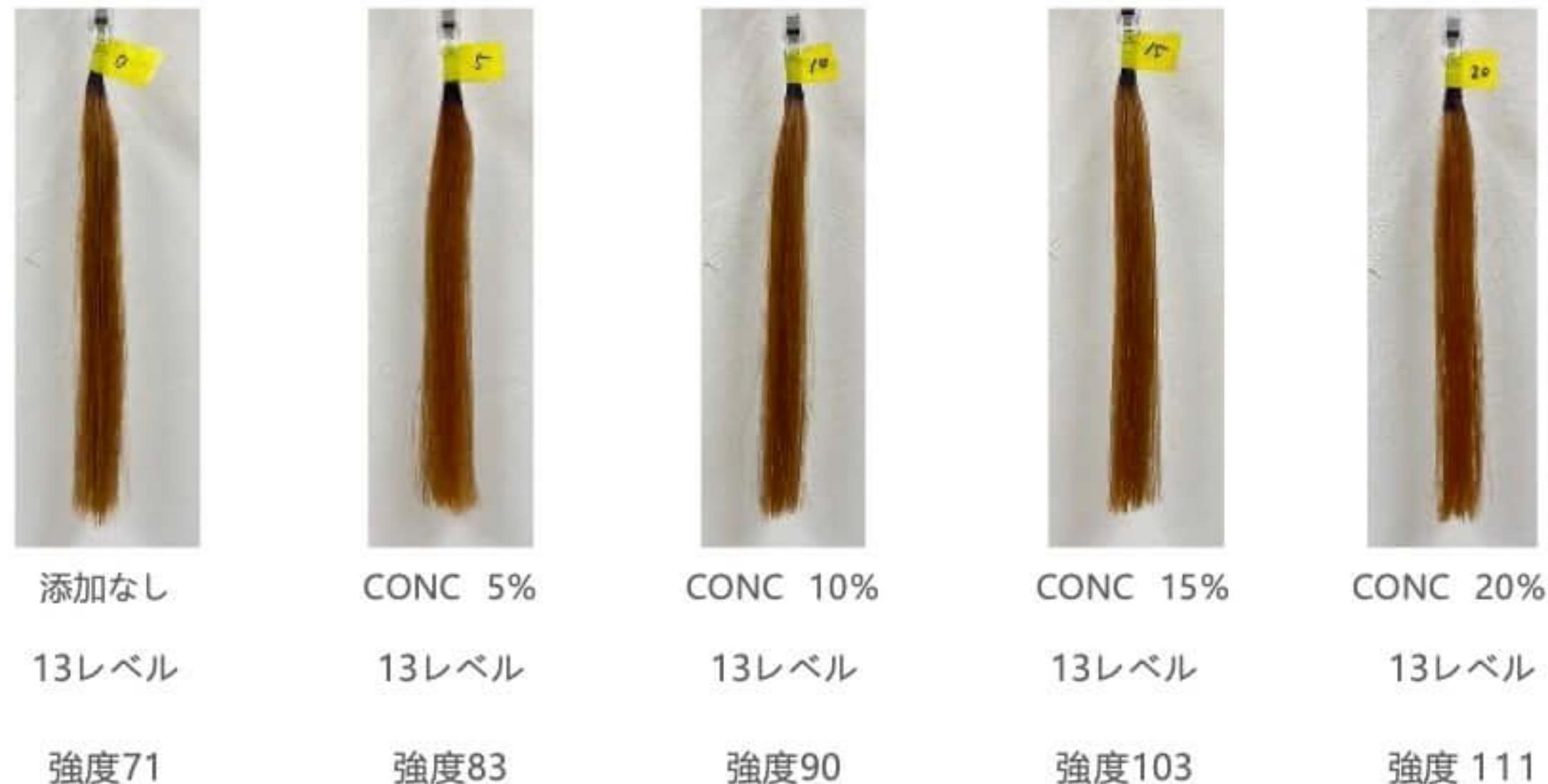
上：強さ計
下：太さ計

1. ブリーチ検証

クオレ00ケラティストコンク×ブリーチ

5

- ・コンクを各5%、10%、15%、20%添加
- ・ブリーチで、放置時間30分



クオレ00アシッドリビジョン×ブリーチ

6

- ・アシッドリビジョンを各5%、10%、15%、20%添加
- ・ブリーチで、放置時間30分



コンク・リビジョン 追いブリーチ検証

7

- ・放置時間30分後にブリーチ剤を拭き取って、新しいブリーチ剤を再度塗布し、30分放置



ブリーチ検証 結果

8

脱色力

- ・コンクを5%～20%まで添加しても脱色力は下がらなかった。
- ・リビジョンは、15%、20%添加で脱色力は下がった。
- ・コンク30%・リビジョン30%添加の追いブリーチも、リビジョンは脱色力は下がった。
- ・コンク10%・リビジョン10%MIX添加の追いブリーチは、脱色力が下がらなかった。

強度

- ・コンクは添加する量が増すごとに、強度が上がっていった。
- ・リビジョンは、20%くらいからは、強度がさほど上がらなかった。
- ・強度が上がることで、艶感・弾力(ハリ)・保湿力が向上している。

ブリーチ検証 安藤による考察

9

- ブリーチにコンクを10%添加しても減力は感じられず、強度は保たれながら手触り・質感の向上が見られた。
- 放置時間を増やす必要があるが、コンクの添加量を20~30%に増やすと、さらに強度が保たれる。
- 追いブリーチなど、よりダメージが懸念される場合は、さらに10%以上添加すると良い。
- 2回目以降のブリーチには、コンクの添加量を増やすと良い。ブリーチを複数回繰り返すときは30%ほどの添加を推奨する。

2. パーマ検証

パーマ検証の使用毛束 (9~18レベル)

11

・マイスター 人毛黒毛束 20センチを使用

・ダメージ加工



9レベル LT/LH 放置時間30分 1回

13レベル ブリーチ 放置時間30分 1回

16レベル ブリーチ 放置時間30分 2回

18レベル ブリーチ 放置時間30分 3回

パーマ検証・酸熱トリートメント検証の共通使用毛束 (19レベル)

12

・マイスター 人毛黒毛束 20センチを使用

・ダメージ加工

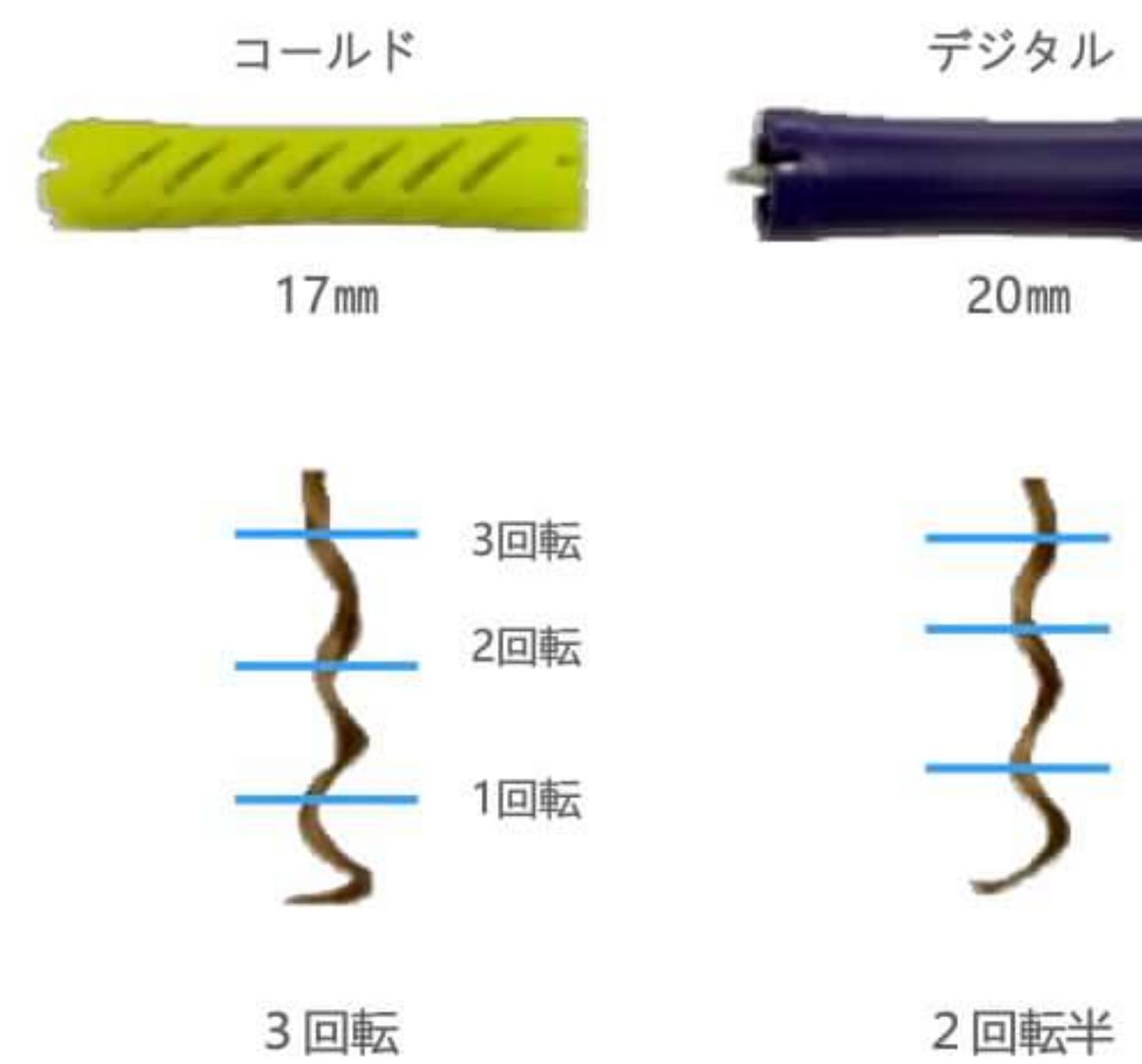


ブリーチ 放置時間40分 3回

パーク検証のロッドと回転数

13

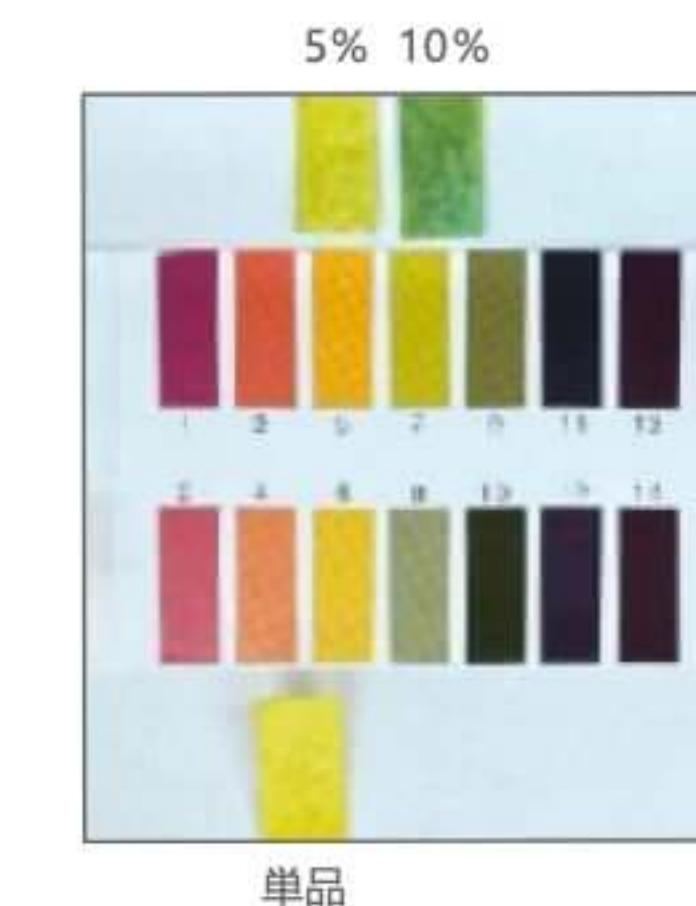
・使用ロッド



AFTER LIQUID (コンク配合アルカリブロム)

14

- ・アンリミットアフタリキッド（ブロム酸8%）を水2倍希釈で4%に
→4%のアフタリキッドにアンリットウォーターを10%、コンクを10%添加



2-1. コールドパーク

9レベル：アンリミットカール×コンク

16



(基準)
W30%

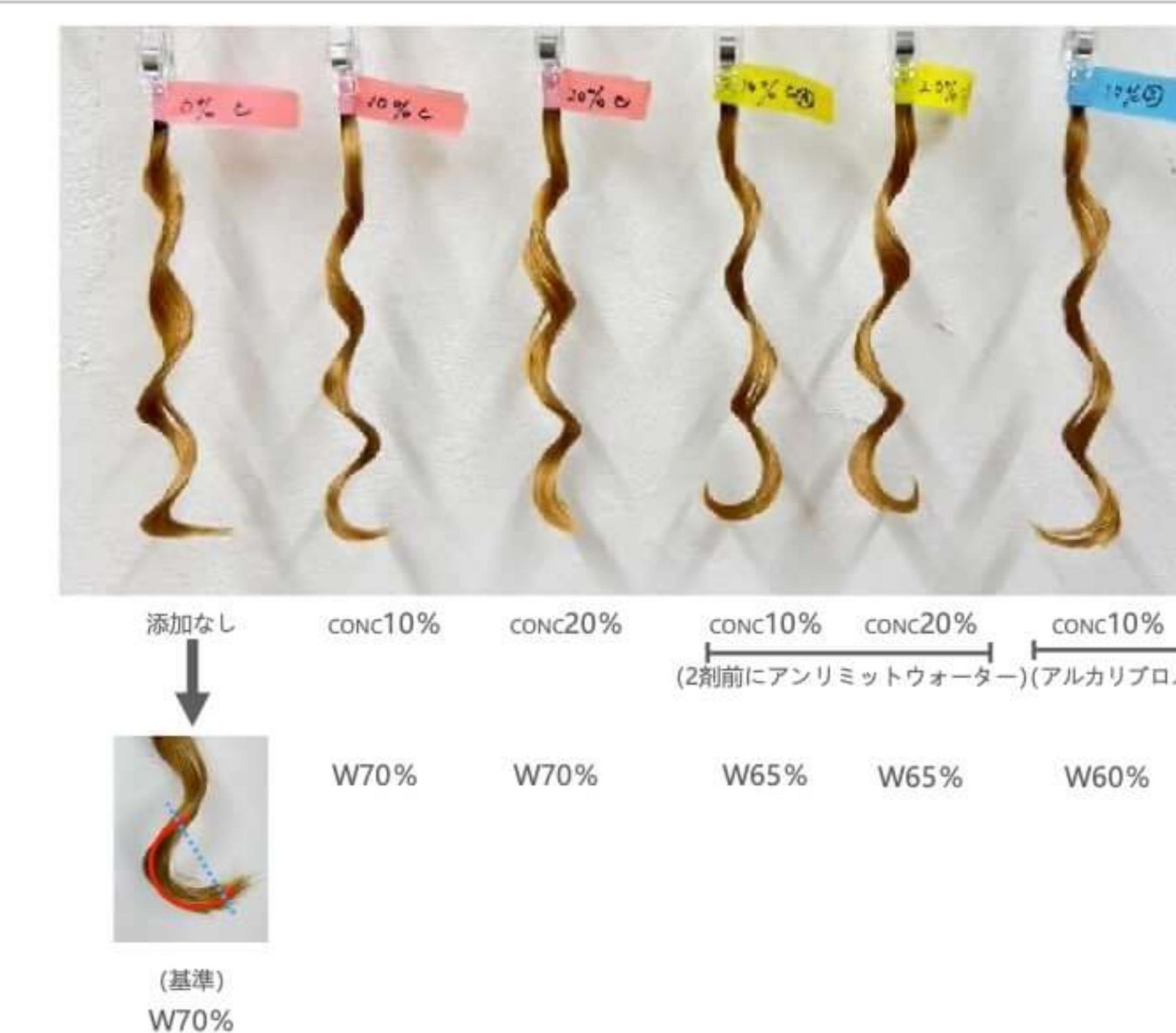
13レベル：アンリミットカール×コンク

17



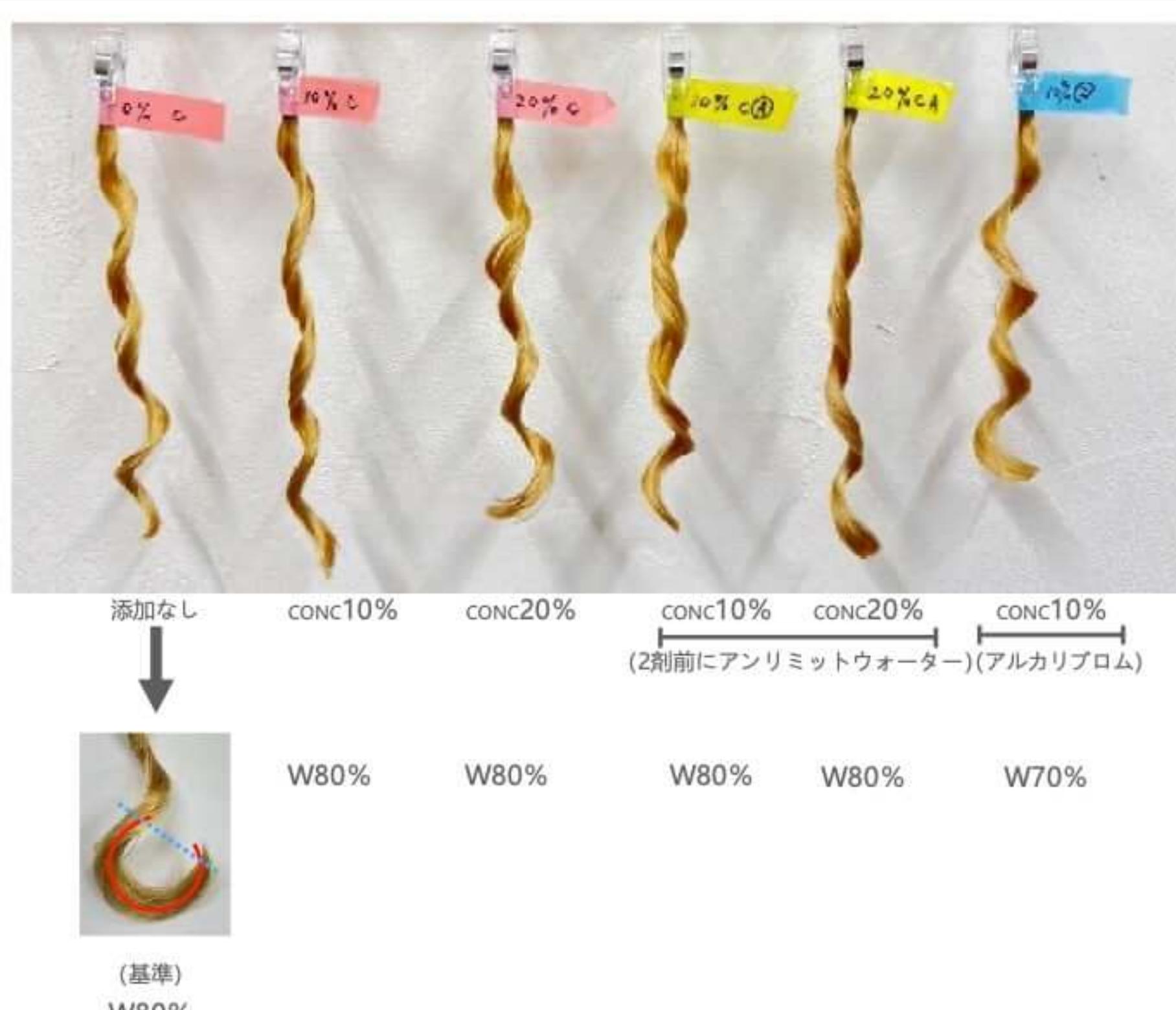
16レベル：アンリミットカール×コンク

18



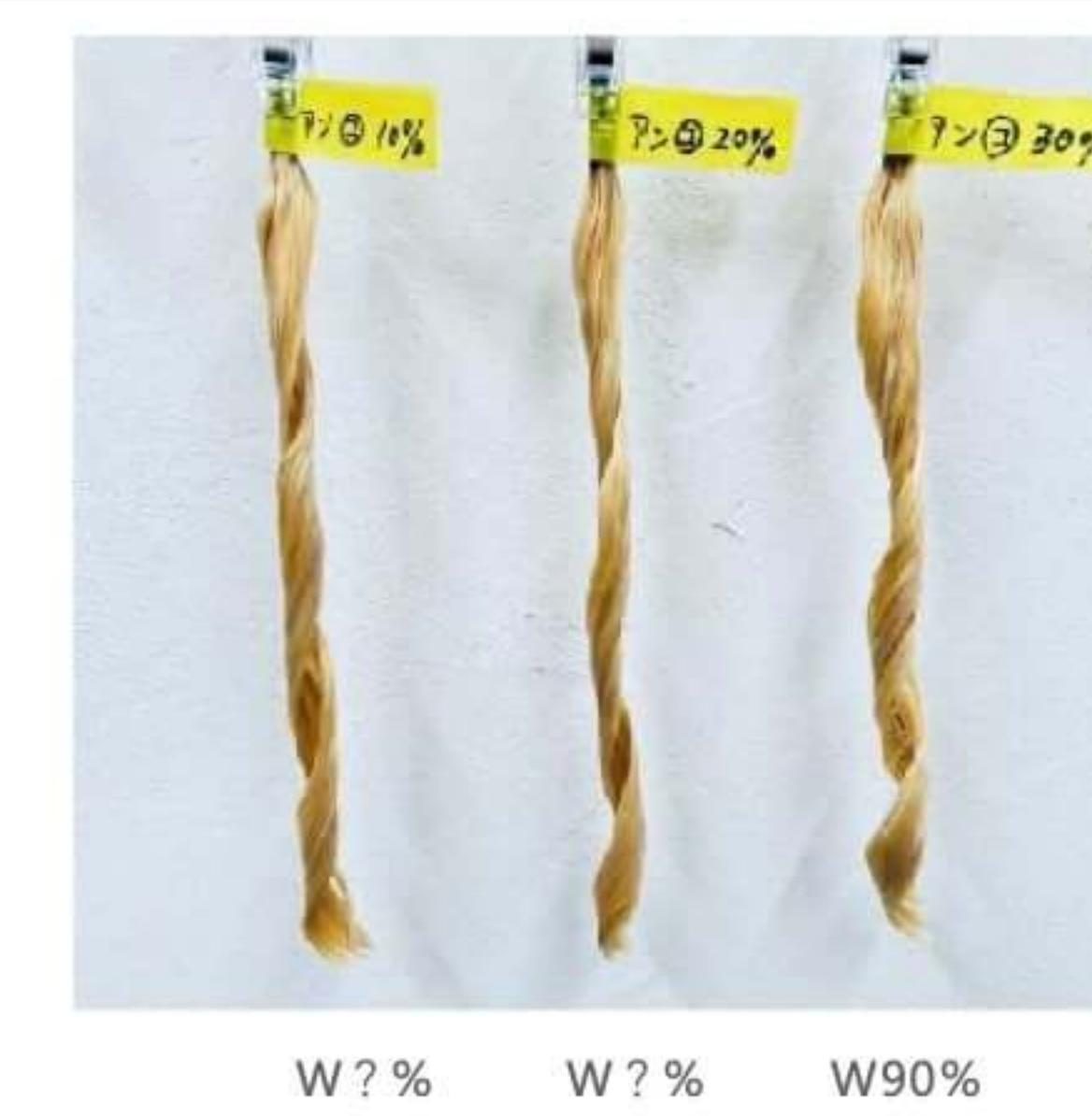
18レベル：アンリミットカール×コンク

19



19レベル：アンリミットカール×コンク

20



コールドパーマ検証 結果

21

W効率（ウェーブ効率）

- コンクを10%・20%添加した場合、9・13レベルは20%だとW効率が下がった。
- コンクを10%添加で、2剤前にアンリミットウォーターを塗布した場合、9・13・16レベルでW効率が下がった。
- コンクを10%添加で、2剤1回目をコンク配合アルカリプロム(p.14参照)にした場合、全レベルでW効率が下がった。
- 19レベルにコンクを10%・20%添加の場合、W効率・強度は測定不能。30%添加の場合、W効率90%、強度は測定不能であった。

コールドパーマ検証 結果

22

艶感・弾力(ハリ)・保湿力

- W効率は下がっても、艶感・弾力・保湿力は添加量が増えることで向上している。特に16・18レベルは艶感・弾力・保湿力の向上が著しい。
- コンクを10%添加で、2剤前にアンリミットウォーターを塗布した場合、9・13レベルよりも16・18レベルの方が艶感・弾力・保湿力が向上した。
- コンクを10%添加で、2剤1回目をコンク配合アルカリプロム(p.14参照)にした場合、全レベルで艶感・弾力・保湿力が向上した。

コールドパーマ検証 安藤による考察

23

- アンリミットカールを使用。9~16レベルまでは何も添加しなくても問題なく綺麗にかかった。
- コンクを10%添加した場合、パーマのかかりは損なわれず、強度を保ちながら質感・手触りが向上した。
- 16レベル以上の毛束には、コンクを10%より多く入れても良い。その分かかりは多少落ちるが、水洗後のクリープなどで維持すると良いだろう。
- コンク配合アルカリプロム(※)を使用した場合も良い結果が得られた。
※アンリミットアフターリキッド(プロム酸8%)を水2倍希釈で4%にし、アンリミットウォーター10%、コンクを10%添加(p.14参照)
- 18レベル以上の毛束にはアンリミットカールではオーバースペックなため、アンリミットSP5.5プレミアム(スピエラ)を30%ほど添加する方が良い。そこに追加でコンクを添加することを推奨する。

2-2. デジタルパーマ

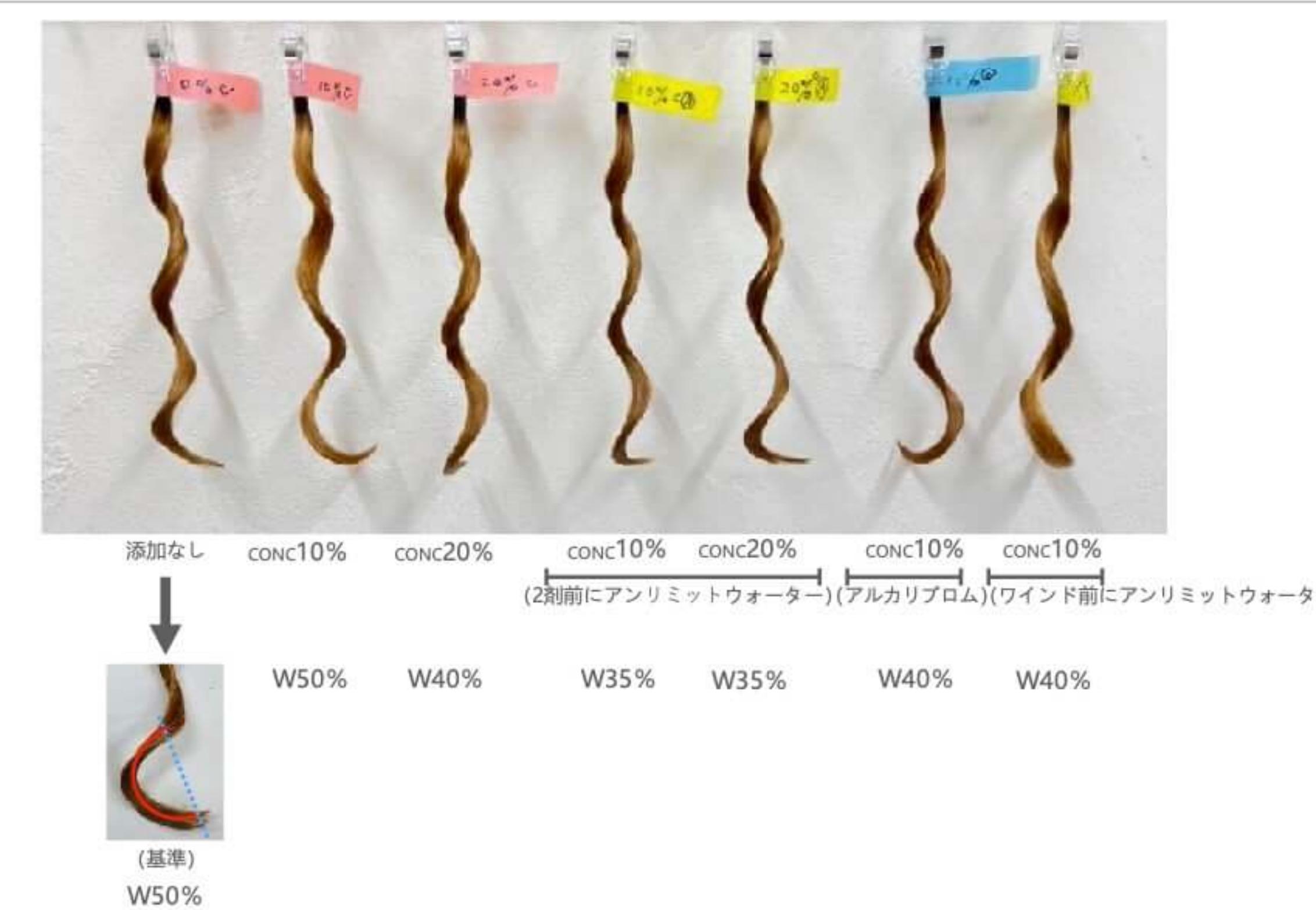
9レベル：アンリミットストレート×コンク

25



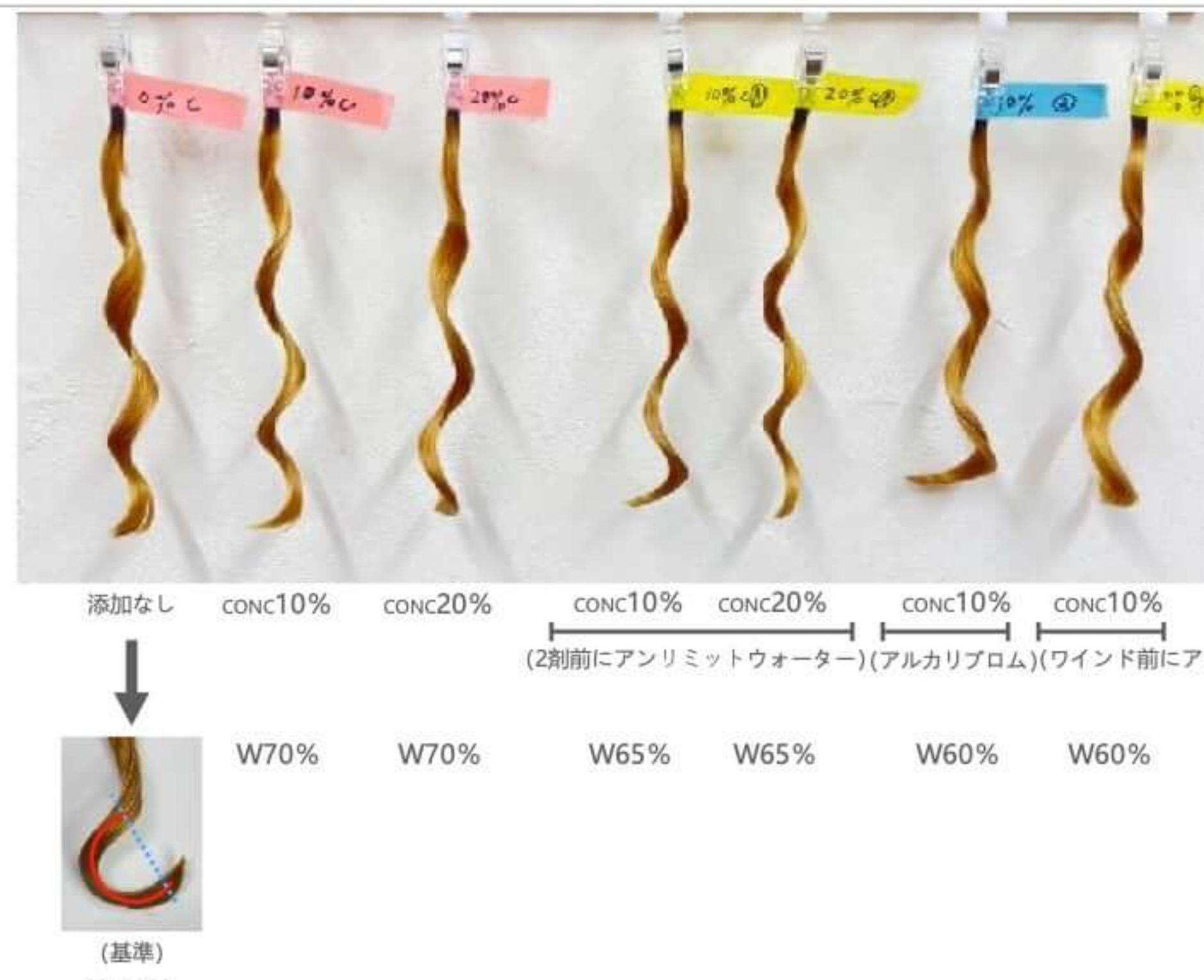
13レベル：アンリミットストレート×コンク

26



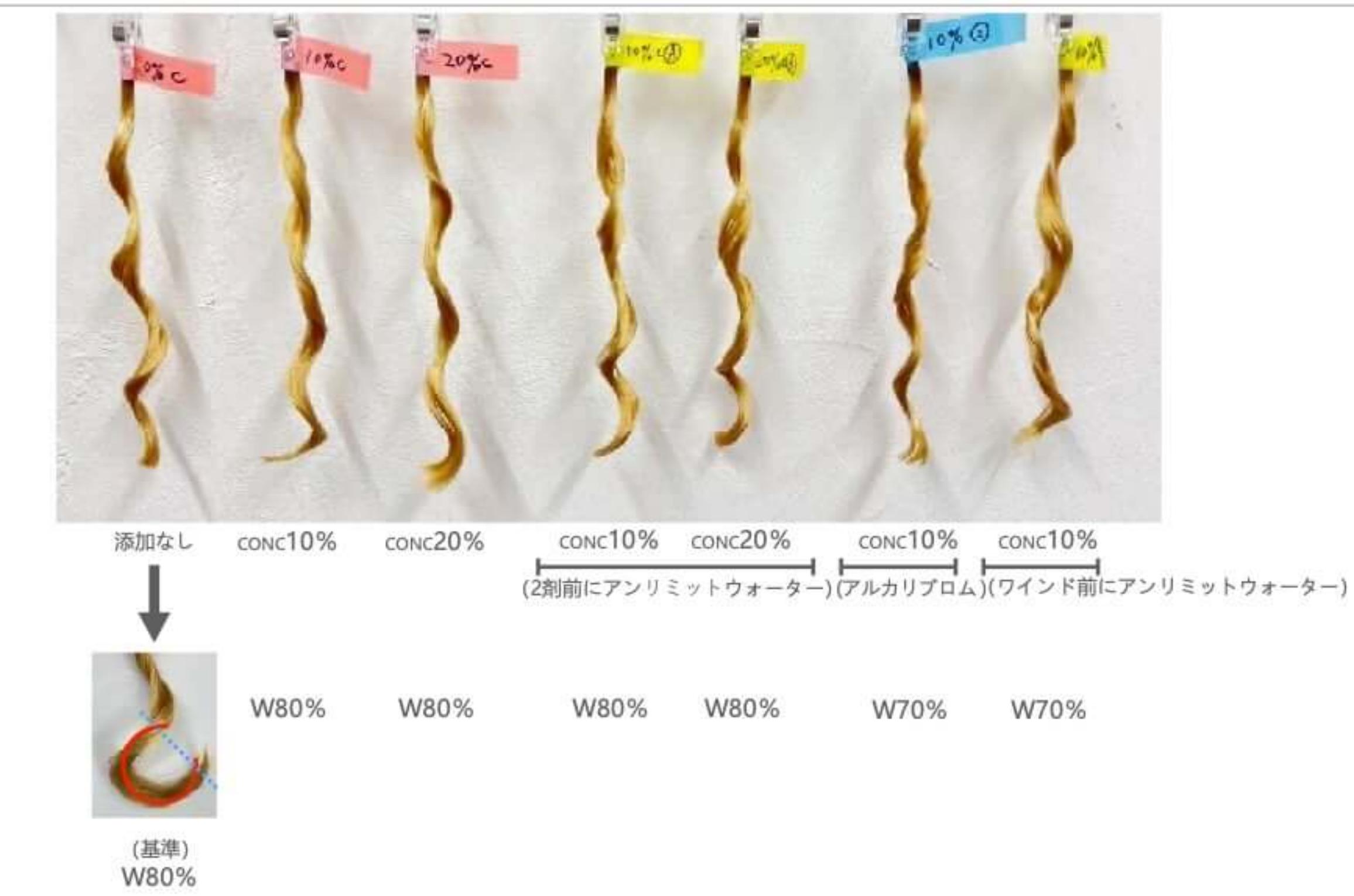
16レベル：アンリミットストレート×コンク

27



18レベル：アンリミットストレート×コンク

28



デジタルパーマ検証 結果

29

W効率（ウェーブ効率）

- コンクを10%・20%添加した場合、9・13レベルは20%だとW効率が下がった。
- コンクを10%添加で、2剤前にアンリミットウォーターを塗布した場合、9・13・16レベルでW効率が下がった。
- コンクを10%添加で、2剤1回目をコンク配合アルカリプロム(p.14参照)にした場合、全レベルでW効率が下がった。
- コンクを10%添加で、ワインド前にアンリミットウォーターを塗布した場合、9・13・16レベルでW効率が下がった。
- 9~18レベルのW効率は、コールドパーマとほぼ同じ結果である。

デジタルパーマ検証 結果

30

艶感・弾力(ハリ)・保湿力

- W効率は下がっても、艶感・弾力・保湿力は添加量が増えることで向上している。特に16・18レベルは艶感・弾力・保湿力の向上が著しい。
- コンクを10%添加で、2剤前にアンリミットウォーターを塗布した場合、9・13レベルよりも16・18レベルの方が艶感・弾力・保湿力が向上した。
- コンクを10%添加で、2剤1回目をコンク配合アルカリプロム(p.14参照)にした場合、全レベルで艶感・弾力・保湿力が向上した。
- コンクを10%添加で、ワインド前にアンリミットウォーターを塗布した場合も、全レベルで艶感・弾力・保湿力が向上した。
- 9~18レベルの艶感・弾力・保湿力の向上も、コールドパーマと同じ結果である。

19レベル：マルチクリーム3.5(MC3.5)×コンク

31



18レベルからアンリミットストレートでは対応不可と判断。

19レベルにはマルチクリーム3.5を使用し、追加検証を実施した。

結果

- コンクを10・20・30%添加とも全て、柔らかく、なおかつ毛束に体力が残っている。
- コンクの添加量が増すことで強度が上がった。
- コンクの添加量が増すことで、ウェーブ効率は下がったが、カールはしっかりとといった。

デジタルパーマ検証 安藤による考察

32

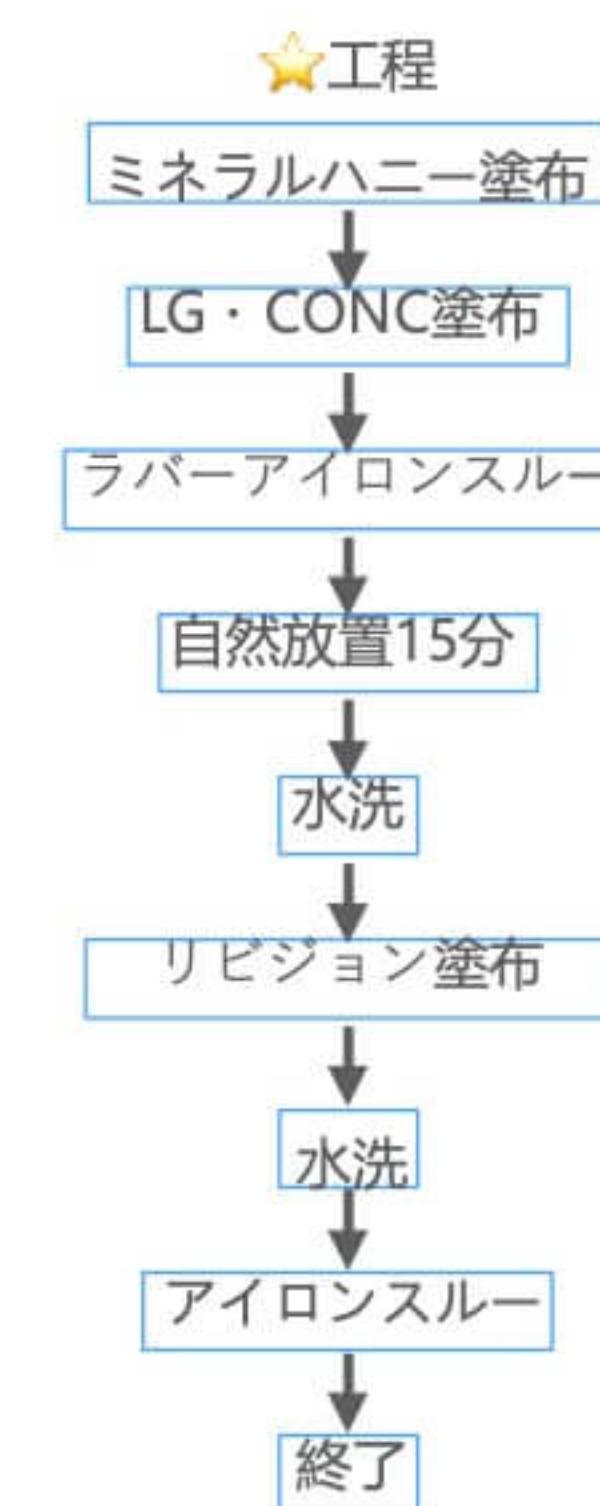
- デジタルパーマには、アンリミットストレート、19レベルにはアンリミットマルチクリーム3.5 (MC3.5) を使用。
- 9~16レベルでは、問題なく綺麗にかかった。10%の添加までは減力を感じることがなかった。
- 16レベル以上は10%より多く添加量を増やすと良い。多少減力はするが、ツヤ感・弾力・保湿力アップに効果的である。
- 18レベル以上は、アンリミットストレートではオーバースペックのためうまくいかなかった。
- マルチクリーム3.5を使用した場合は、19レベルでも上手くカールが出た。18レベル以上のハイダメージ毛には、マルチクリーム3.5での対応を推奨する。

3. 酸熱トリートメント検証

工程：アンリミットLGアシッド×コンク

34

LGを使った酸熱トリートメント



19レベル：アンリミットLGアシッド×コンク

35



強度35 強度40 強度43 強度53

酸熱トリートメント検証 結果と安藤による考察

36

- アンリミットLGアシッドを使った酸熱トリートメントでは、コンクの添加量を増やすと強度・質感がさらに向上した。
- 太さ計での数値では定かではないが、毛が太くなったように感じられた。ドライ時は、毛が冷たく、保水力が上がったように感じられた。
- 13レベル：10%、16レベル：20%、18・19レベル：30%というように、コンクの添加量を増やしていくと良い。